

平成24年10月18日

南海電気鉄道株式会社
藤本食品株式会社

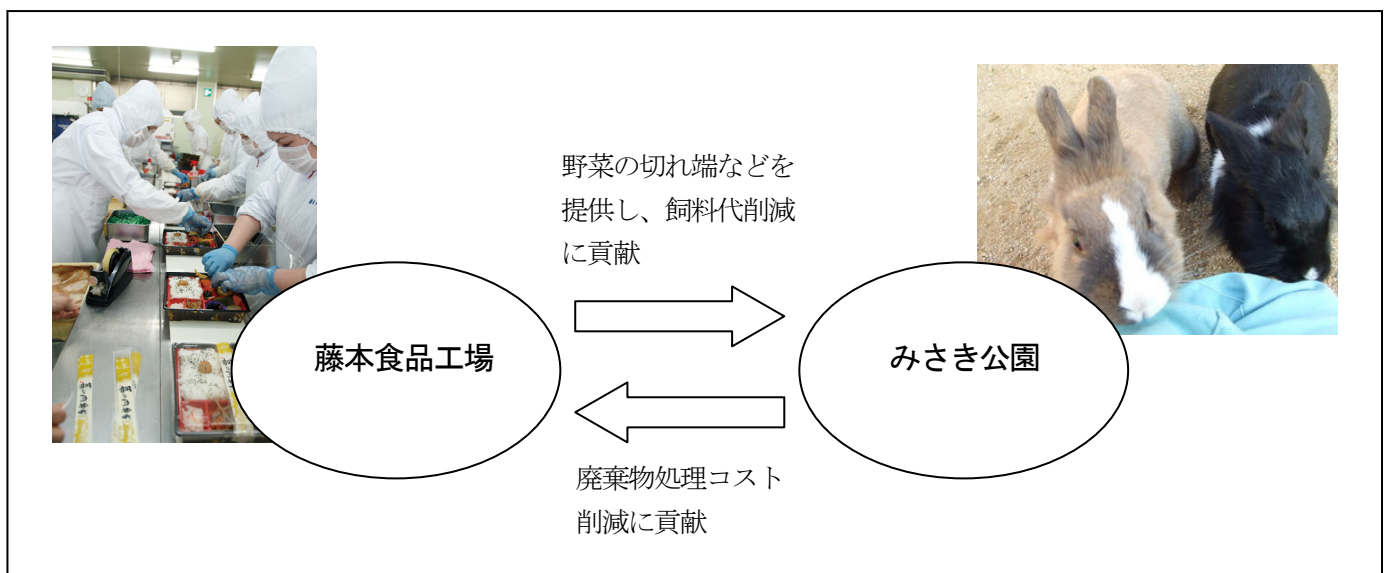
みさき公園の動物がエコに貢献

廃棄野菜を動物の飼料として有効活用し環境保全に取り組みます

南海電鉄（社長：亘 信二）が経営する「みさき公園」（園長：三谷良昭）と、藤本食品（社長：横井輝夫）では、藤本食品がカット野菜や弁当などを作る過程で廃棄されてきた野菜の切れ端などを、みさき公園で飼育している動物の飼料として有効に活用することにしました。

商品に使えない廃棄野菜を有効資源として活用することで、年間約24t（1日あたり約65kg）の廃棄を減らします。これにより藤本食品は廃棄物処理コストを、みさき公園では飼料代を削減し、両社事業所内における環境負荷の低減を目指します。

詳細は別紙のとおりです。



廃棄野菜を動物の飼料として活用（イメージ）

別紙

1. スキーム

- ・惣菜・弁当の製造メーカーである藤本食品は、カット野菜や弁当などを作る過程で経費をかけて廃棄していた、商品には使えない野菜の切れ端などをみさき公園に提供します。
- ・74種379点の動物を飼育しているみさき公園は、引き取った野菜を動物の飼料として利用します。

2. 供給野菜と動物について

藤本食品からみさき公園へ、5種類の残り野菜（サツマイモ、ニンジン、キュウリ、ハクサイ、キャベツ）を1日あたり約65kg、年間で約24t供給します。

- ・サツマイモ → ニホンザル、カンガルー
- ・ニンジン → ニホンザル、ウサギ、カンガルー
- ・キュウリ → リクガメ
- ・ハクサイ → カンガルー、リクガメ
- ・キャベツ → マーラ、モルモット、ウサギ、ヤギ など

3. 開始日

平成24年10月20日（土）から

<ご参考>

【藤本食品について】

所在地：和歌山市向181番地

事業内容：各種サラダ、煮物、和え物など惣菜の製造、および寿司、弁当、おにぎり・野菜の加工などの製造

【みさき公園について】

所在地：大阪府泉南郡岬町淡輪3990

園内施設：動物園やイルカショー、アトラクション、夏にはプールも楽しめる海の見える総合レジャーランドです。動物は74種379点飼育しています。

以上